

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

「町民の皆様、いつもお世話になっております」

町民の皆様には、教育行政の推進にあたりまして、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。本年度も、町民の皆様のご協力により、様々な事業を実施することができました。参加いただいた方の笑顔や元気な姿を拝見でき、本当にありがたく思います。これからも、皆様のご意見をお聞きしながら、よりよい事業になるように実施していきたいと考えております。

本紙は、今年度行った教育委員会や学校・園の事業の一端をお知らせいたします。紙面の関係で掲載できませんでしたが、マラソン大会や、文化ホール事業（夏休み子ども劇場、陸上自衛隊のコンサート）なども、多くの観覧者にご来場いただいて開催できております。これからも、教育委員会の職員一同が一丸となって、町民の方をはじめ、お越しいただく全てのお客様に、笑顔でお帰りいただけるような催し物を企画していきたいと思っております。ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（文責：事務局長 村山 弘美）

「生きる力」向上プロジェクト “さとしょう未来塾”里ちゃんチャレンジ・ワールド

○ 「冒険キャンプ2024」IN 倉敷市自然の家

7月25日（木）～26日（金）に東・西小学校6年生30名が参加し、倉敷市自然の家で豊かな自然環境の中で「本物体験」をしました。地図を頼りにグループで五感を働かせ植物を調べるグリーンアドベンチャー、協力して薪割りや火おこしも行う野外炊事、暗闇の中で厳かに燃える火を囲みスタンツを楽しむキャンプファイヤー、班ごとに課題に挑戦するプロジェクトアドベンチャーなどを体験しました。暑い日でしたが、小学校最後の夏、思い出を残すことができました。



○ めざせ！パティシエ 焼き菓子作り体験と工場見学

8月7日（水）、町内小・中学生40名が参加して、株式会社サンラヴィアン岡山本社工場（里庄町）において焼き菓子作りを体験しました。「難しいと思っていたけれど、やさしく教えてくださったので、失敗なくできました。工夫したところは、卵に砂糖を入れて、よく混ぜるところです。よく混ぜないとマドレーヌがシャリシャリするからです。」「作って持って帰ったら、おばあちゃんもおじいちゃんも、『お店ぐらいおいしい』『売ってもいいんじゃない』と言ってくれました。教えてくださった方々のおかげです。」などの感想がありました。



○ ブックスタンドを作ろう！ 木工作と工場探検

8月22日（木）、東・西小学生25名がAKASE GROUP株式会社岡山本社（里庄町）で高級家具材ウォールナットを使つての木工作「ブックスタンド」づくりを体験しました。職員の方々から本格的な家具の組み立てと同じように、丈夫に仕上がる仕組みを丁寧に教えていただきました。また、工場見学では、一つひとつ丁寧に製品が仕上がっていく様子に、子どもたちは目を輝かせていました。



（文責：蜂谷 真治）

小中学校に電子黒板を導入しました！！

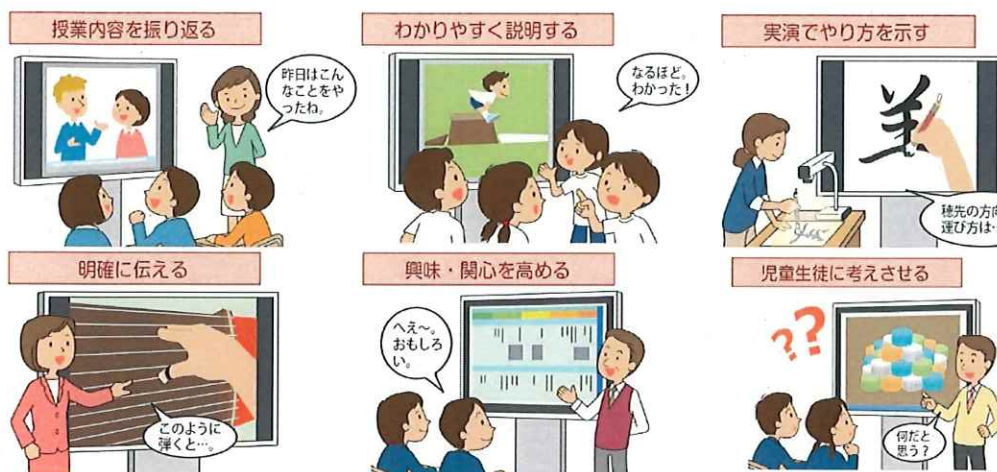
1 電子黒板とは

今年度、国の補助金を活用して、小中学校の通常学級・特別支援学級・特別教室に電子黒板を導入しました。電子黒板とは、パソコンの画面を投影することができ、文字や図形を直接書き込める黒板のことです。従来の黒板やホワイトボードではできなかった、画像や動画の表示、タッチ操作、データ保存が可能です。



電子黒板

2 利用場面 学校では、次のような利用をしています



出典 「授業がもっとよくなる電子黒板活用」(文部科学省)

児童・生徒に貸与しているタブレットパソコンを無線でつないで活用するなど、工夫しだいで活用場面は大きく広がっています。



3 小中学校での利用の様子

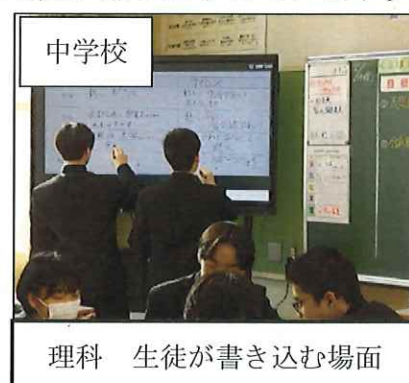
町内の小中学校での実際の利用場面です。教師が使ったり、児童・生徒が使ったりしています。



国語科 児童が書き込む場面



算数科 教師が説明する場面



理科 生徒が書き込む場面



国語科 教師が質問する場面



朝の会 児童が発表する場面



英語科 アメリカと遠隔授業

これからも、児童・生徒の学ぶ意欲の向上や学力向上のため、電子黒板等の効果的な利用について研究を進めていきます。
(文責：天野 正彦)

令和7年里庄町はたちの集い ～ふるさとの仲間とともに、二十歳の誓い～

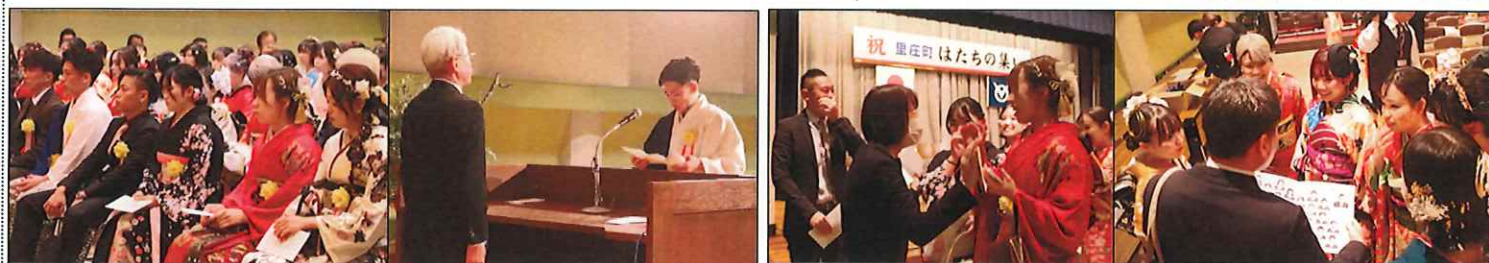
1月12日（日）、里庄総合文化ホールにおいて「里庄町はたちの集い」記念式典が厳粛に開催されました。澄みきった冬晴れのもと、二十歳を迎えられた88名が出席され、家族や来賓、恩師らが見守るなか、二十歳の門出を祝いました。

式典では、「里庄町の歌」斉唱や町民憲章朗読などの後、来賓の方々から温かいお祝いのメッセージが贈られ、参加者代表が「当たり前の日々に感謝しながら、社会の一員としての自覚と責任をもち、自分の夢、将来の目標に向かって精進してまいります。」と、力強く感謝と決意を述べました。

また、式典終了後は、はたちの集い実行委員の企画運営により、小学校、中学校時代の恩師をお迎えして交歓会が行われました。久しぶりに再会した同級生や先生たちとの会話も弾み、写真を撮り合う姿や、卒業アルバムやタイムカプセルを開き、懐かしい思い出話に花を咲かせる様子が見られました。

里庄町の未来を担う皆様、改めておめでとうございます。里庄町は、若い皆様が成長し、活躍できるような町づくりに努めるとともに、これからの皆様の一層のご活躍を心より応援しています。

（文責：山本 華代）



記念式典の様子

交歓会の様子

親育ち応援学習プログラム「自分でできたよ！うれしいな」～入学までに応援できること～

10月3日（木）に里庄東小学校、10月24日（木）に里庄西小学校で、令和7年度入学予定の保護者を対象に、親育ち応援学習プログラムを実施しました。このプログラムの目的は、子どもの健やかな成長とともに、互いに子育てについて学び合い、親として育ち合うことです。

今回は「自分でできたよ！うれしいな」～入学までに応援できること～という、小学校の入学までにどのような準備ができるかを、保護者の皆さんと考えるプログラムを実施しました。里庄町親育ち応援学習プログラムファシリテーターが、進行役としてプログラムを進行し、入学まで約半年の間に、どのような準備ができるか、子どもとどのように接することでスムーズに小学校へ入学し、学校生活を楽しむことができるかなどを、保護者の皆さんと共に考えました。

参加した保護者の皆さんから「保護者同士で悩んでいることや、不安に思っていることを共有できてよかった」「小学校の入学までに何を準備すればよいか、考えるきっかけになりよかった」などの感想がありました。

今後も子どもたちの健やかな成長とともに、互いに子育てについて学び合い、親として育ち合うことのできる学習機会を、里庄町親育ち応援学習プログラムファシリテーターの皆さんと共に提供していきたいと考えています。

（文責：小野 修平）



親育ち応援学習プログラムの様子

教育施設の老朽化対策の推進

教育施設は、日常のみならず有事の際においても、十分な安全性や機能性を有しておくことが求められています。築40年以上が経過する施設が多くなり、建設当初には確保されていたこれらの性能なども、経年劣化とともに必要な性能が低下してきます。教育委員会では各教育施設の老朽化を把握し、現在社会において求められる機能を集約しつつ施設の修繕や建替えを行うなど、教育施設の老朽化対策を推進していきます。

(文責：淡路 尚久)



①中学校屋外トイレ棟（着手前）



②中学校校舎内トイレ（着手前）



③野球場屋外トイレ棟（着手前）



①中学校屋外トイレ棟（完了後）



②中学校校舎内トイレ（完了後）



③野球場屋外トイレ棟（完了後）

第72回里庄町民スポーツ交流大会

9月29日（日）快晴の中、第72回里庄町民スポーツ交流大会が開催されました。昨年度より町民の皆さまがスポーツを通じてふれあい、分館の交流を深めることを主たる目的とし「厚生体育大会」から「スポーツ交流大会」に名称を変更しました。順位よりも幅広い年代の方がスポーツを楽しんでいただけるようにと、従来の競技の参加資格を見直し、子どもも参加できるようになり、大人と一緒に競技を楽しむ姿が増えました。今大会では9種目の競技を行い、東西に分かれて行った小学校1～3年生による玉入れで3回戦とも引き分けとなった大接戦の後には、未就学児が鬼役からお宝を取り返すかわいらしい姿に、会場はたくさんの笑顔であふれました。また、大会最後を締めくくる男女混合リレーでは、手に汗握る白熱したレースの展開に、選手への熱い声援と称賛の拍手が送られました。このような参加者が楽しめる「里庄町民スポーツ交流大会」を引き継いでいくために、様々なご意見を参考にしながら、今後も運営を行ってまいります。

(文責：大植 玲)



鬼から宝物をとるもどす選手たち